

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

平成 30 年 2 月 27 日改正
(平成 30 年 4 月 1 日適用)

① 第三者評価機関名

特定非営利活動法人 旅人とたいようの会

② 施設・事業所情報

名称：日野保育園	種別：保育所	
代表者氏名：園長 小島千恵子	定員（利用人数）：90名（113名）	
所在地：岐阜県岐阜市日野西3丁目3番地10		
TEL：(058) 245-3801	ホームページ： http://www.funabuse.or.jp/nurseryschool.html	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 平成23年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 舟伏		
職員数	常勤職員：16名	非常勤職員：10名
専門職員	（専門職の名称）副理事長 1名	
	主任 1名	園長 1名
	保育士 18名	看護師 1名
	体育講師 1名	調理員 3名
施設・設備 の概要	（居室数）	
	保育室 6室	遊戯室 給食室 園庭
	遊戯室	プール 沐浴室 休憩室
		事務室 駐車場

③ 理念・基本方針（※転載）

理念

- ◆子どもの最善の利益を保障します。
- ◆子どもにとって最もふさわしい生活の場を保障します。
- ◆家庭援助や地域における支援を積極的に進めます。

基本方針

- ◆生きる力の基礎を育む保育・教育の推進
- ◆子育て家庭の養育力の向上
- ◆子どもを核としたよりよい地域との連携
- ◆施設運営の質の向上

④ 施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

独自性

◎子どものニーズに合わせた取組み。

十分に養護の行き届いた環境の下で、養護と教育を一体とし、温かい雰囲気の中で一人ひとりの情緒を安定させ、心身の調和をはかりながら「生涯にわたる生きる力」の育成に努める。

- ◆健康でたくましく活動する子
- ◆友だちと心を通わせながら遊べる子
- ◆自分で考え、やりぬこうとする子
- ◆感性豊かで感動する子
- ◆楽しく食べる子

外国人講師による英語で遊ぼう、幼児体育指導者による体育教室、及びお話広場などの子ども生き生きと参加できることを3つ特色としている

◎保育士に期待すること（保育士に持って欲しい使命感）

「一人ひとりの子どもにむける愛情を持つ保育」を目指しています

常に子どもの生活や遊びを共にする中で倫理感に裏付けられた専門的知識、技術及び判断をもって、子どもの保育と保護者の支援指導をしてほしいと願う。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成 30 年 8 月 21 日（契約日） ～ 平成 31 年 3 月 8 日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	1 回（平成 25 年度）

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

母体は社会福祉法人舟伏でその中の一施設として日野保育園がある。病院、その他の障がい者施設と共に唯一の保育園として常に理事長、副理事長の温かいまなざしがある。

〈保育の質向上に取り組んでいる〉

園長は長く保育に関わってきた経験を基に、養護と教育の一体的展開を目指し「丁寧な保育を」の思いが園内に溢れている。職員もそれを受け止め日々子ども達と向き合っている。保育の質の向上には、保育力向上のための外部研修、内部研修に熱心に取り組んでいる。職員は保育で気付いたことは、すぐ園長に相談したり会議で提案したりして日々の保育実践に反映している。

〈職員の働き易い職場作りに取り組んでいる〉

保育の質の向上には、人材育成・確保も必然であるとし労働基準局の研修は岐阜市内

の保育園では一園だけであったが参加し、働き方改革について改めて確認し、職員の処遇改善について取り組んでいる。また法人の産業医による職員のストレスチェック制度を取り入れ、メンタルケアも含め健康で働きやすい職場作りに環境を整えている。

〈保護者支援に取り組んでいる〉

保護者の就労と子育ての両立を支援する為、0歳児からの保育や延長保育、一時預かり保育を提供している。子育て中の地域の保護者を支援する子育て相談サービスを行い、全ての子ども達の健やかな育ちを実現するために積極的にサポートしている。また、保護者との丁寧なコミュニケーションに努め、対話や連絡帳を重視した温かい心の関係作りに努めている

◇改善を求められる点

今、報道で知られ問題になっている子どもへの虐待やDVに鑑みて、更に研修を深め、子どもの権利擁護や保護者支援の向上を期待する。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

平成 25 年に第一回目の第三者評価を受審し、今回二回目の受審することで、職員と共に保育園の運営、各種マニュアル、日々の保育実践をより深く丁寧に見つめ直すことができました。子どもたちにとって最もふさわしい生活の場となっているか、主体的な活動ができていないか、子どもの心に寄り添い気持ちを受け止めているかなど職員一人一人が自己評価をし、意見を出し合い、話し合う中で、園全体で組織的に保育を振り返ることができました。評価・改善を行うことが保育の質を向上させるということを実感し、園運営や職員の専門性・資質の向上に努めると共に、地域の子育て支援の場として充実を図っていきます。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。